



# クマ注意!? 山で出会わないために

山菜採りやきのご狩りは楽しいね。つい夢になっちゃうけど、僕たちツキノワグマも春と秋は食べ物を探して歩き回っているよ。  
お互い熱中しすぎて、ばったり出会ったらびっくりだね。

山菜採りやきのご狩りシーズンには山に入る人が多くなりますが、ツキノワグマの活動期でもあります。四国のツキノワグマは生息数が少なく実際に出会ったことのある人は多くはありませんが、絶対に会わないとはいえません。山中ではクマ鈴やラジオ等で遠くからでも人間の存在を知らせる、採集などに熱中しすぎないなどクマ対策を心がけましょう。クマは人の存在に気づけば人を避けるといわれていますが、クマも食べ物に熱中していますから、お互いが至近距離で初めて気づく場合があり、大変危険です。

## 出会わないようにすることが一番大切!

### ●クマの出没情報をチェック

行政機関のホームページなどで情報収集しましょう。

### No! ひとりで山に入らない

複数人で行動すれば、人間の会話などからクマが気づきやすくなります。また山菜やきのご採りに熱中しすぎないようにしましょう。

### ●クマ鈴やラジオで人間の存在を知らせる

姿より先に人間の存在を知らせることが大切です。ただし大風や雨の日、川沿いでは音が伝わりにくいため、意識して大きな音を出すようにしましょう。

### ●糞など痕跡を見つけたらすぐに立ち去る

まだ近くにクマがいる可能性があります。すぐにその場から立ち去りましょう。クマかな?と思ったら、右の「クマの痕跡」を参考にしてください。

### No! 食べ物を山に残さない

クマが人の食べ物の味を覚えると、人の近くに出没する頻度が高まります。また、クマは非常に嗅覚が優れているので、においの強い食べ物に近づいてくる場合があります。

### ●夕方や雨の日に注意

クマは午後から夜間にかけて活動が活発になります。特に夕方以降や雨の日は見通しが悪くなり、クマに気づきにくくなり危険です。

## もし出会ってしまったら

### ●クマが人に気付いていない場合

気づかれないように落ち着いてその場から離れましょう。

### ●クマがこちらに気付いている場合

十分にクマとの距離がある場合は、クマに背中を見せず、ゆっくりと後ずさりしながら立ち去りましょう。走って逃げたり、写真のフラッシュは厳禁です。

### ●すぐ近くで出会ってしまった場合

慌てた人の動きや声に驚いて攻撃してくることがあるので、冷静に素早くクマから離れましょう。逃げるものを追いかける習性がありますので、走ることは厳禁です。

### ●さらに近づいてきたら

持っている荷物などを置いてクマの興味をそちらに引き付けて立ち去ることも方法です。

### ●襲われそうになったら

クマスプレーを持っている場合はクマの顔をめがけて噴射します。クマの攻撃を避けられないと思ったら、ケガを最小限にするために防御姿勢をとりましょう。首と頭を守りながらうつぶせになるなど、首や頭、顔面、腹部を守ります。

### No! 子グマを見かけても決して近づかない

ツキノワグマは生まれてから約1年半親子で行動しますので、一見成獣に見えても子グマの場合もあります。子グマの近くには必ず母グマがいます。子グマを守ろうと攻撃することがありますので、大変危険です。



クマ鈴・ラジオなど



クマスプレー



防御姿勢

## クマの痕跡



クマ棚  
(枝を折ってたくりよせた跡)



クマのフン



足跡  
(5本指が特徴 写真は前後足が重なっている)



クマの皮剥ぎ痕  
(剥いた痕には歯形が見える)



クマのフン  
(食べたものによって状態が変わる)



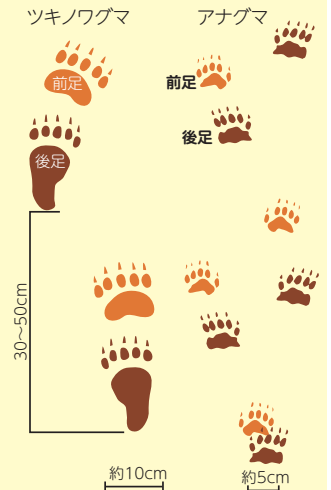
つめ痕  
(痕が平行につく)



シカの角研ぎ痕  
(痕がいろんな方向をむく)

写真:(株)野生動物保護管理事務所(WMO)

## 足跡くらべ



## ツキノワグマやその痕跡を見かけたら 情報提供をおねがいします

◆連絡先:最寄りの市町村または派出所・駐在所

みなさまから寄せられた情報は、クマの生息に関する研究や、被害の未然防止のために役立てられます。クマかなと思ったら、最寄りの市町村に情報提供をお願いします。可能であればクマ本体や痕跡の写真を撮影していただくと大変重要な情報になります。

しかし痕跡であってもまだ近くにクマがいる可能性がありますので、状況に応じてすぐ立ち去る、車に避難するなど、安全第一の行動をしてください。